

ブック村だより

私が影響を受けた本	明石 芳彦(1)
ぶっくす・なう	(4)
『書店主フィクラーのものがたり』	谷岡 一郎
『オンブレ』	塩田 眞典
『貝と羊の中国人』	下山 晃
『自分の仕事をつくる』	河辺 純
本学コレクション紹介(33)	
リスト『著作集』①	森岡 邦泰(6)
図書館イベント案内／貸出ランキング	(7)
図書館インフォメーション／開館カレンダー	(8)

私が影響を受けた本

経済学部 経済学科 教授 明石 芳彦

私が大学生の頃は、インフレと失業の克服が社会的課題でした。少数の大企業が価格を上げ、それを担うことができるのは特定集団のみであり、世の中は一部の企業やその経営幹部という特定集団が計画した形で動いており、その社会的影響が大きくなった。しかも、イノベーションをおこし経済を変えているのも特定集団の企業であり、とくに一部の企業は市場にとってかわり、市場メカニズムは企業が制御しているという論理は、若い人間(当時の私)には説得力がある説明でした。

同じようなテーマを、社会全体のスケールで説明した本が、ガルブレイスの『新しい産業

国家』(河出書房新社、1972年)でした。生産活動の職業的専門化、投資規模の巨大化に伴い、それを担うことができるのは特定集団のみであり、世の中は一部の企業やその経営幹部という特定集団が計画した形で動いており、その社会的影響が大きくなった。しかも、イノベーションをおこし経済を変えているのも特定集団の企業であり、とくに一部の企業は市場にとってかわり、市場メカニズムは企業が制御しているという論理は、若い人間(当時の私)には説得力がある説明でした。

一方、新しい事業開発に取り組みずには広告宣伝だけで販売を促進し、価格を強引に引き上げている大企業の行動に対抗して、必ずしも大きくない企業が技術革新(技術的イノベーション)でもって果敢に挑戦し、市場競争の姿を変えていく事例やそのメカニズムに関心を持つようになりました。イノベーションが経済の世界を変える力をもっている、と。そこで、既存の経済システムや市場支配力を根底から変革していく絶えざる革新の嵐を論じたシュムペーターの『経済発展の理論(上)』(岩波文庫,1977年)の「新結合」が書かれている部分だけを何度も読みました。読むたびに、心がわくわくしたものです(今でも、読むとわくわくしています)。私がおのち、企業の競争や産業の進展とイノベーションについて関心を強めていくようになる原点はこの当たりにあるかもしれません。

さて、30歳を過ぎた頃、書店でドラッカーが書いた『イノベーションと企業家精神』(ダイヤモンド社,1985年)という本を見つけました。その本を手にとったときのとまどいを今も覚えています。題名は自分の研究テーマと間違いなく関係しているのに、本の一部を読んでみても、どこかしっくりとこないのです。ばらばらと本をめくると、確かに、自分の関心と関係しそうなキーワードが時折目に入ってくるのですが、書かれている内容をどうしても理解することができない。なぜなのか、その理由もわからない。書店に何度か通い、悩んだ末に結局、購入しましたが、その本は私の部屋の本棚に長らく眠ることになりました。

私はその後もイノベーションについて勉強を続けていましたが、45歳頃、当時の勤務先

大学の方針で社会人向けの教育コースを作ることになり、私はイノベーションと新規事業立ち上げに関する科目を担当することになりました。ベンチャー企業、起業家、イノベーション、技術経営という題名の本を手当たり次第に探してみる中で、自分の部屋の棚にあった1冊の本に目が止まり、久しぶりに例の本『イノベーションと企業家精神』を読みました。するとどうでしょう。これほど平易な言葉で、本当に大事なことを、多くの事例を元に、系統的に説明している本は他にないなと驚きました。大事なことが強調して書かれている部分は読むと身震いがするほど、強く感銘を受けました。これほどわかりやすく、有益な本は他にないかもしれないと思いました。--私が初めて読んだときから、その本の価値を理解できるようになるまでに15年以上の年月が経過していました。

社会人向けの教育では、事業や組織を動かそうとする人と話す機会が多くなりました。世の中の動きをいかに把握し、世の中の変化に対して、自分や組織がどのように対応すべきかに関わる知識や思考が重要になると思いました。経済を分析(評論)するだけではなく、具体的に行動するための知識を身につけることが求められます。そうした観点に立つと、物事の本質を捉える視点やそれに必要な知識と思考を身につけてもらうことが大事だと思いました。こうして、自分の目の付け所が変わったために、ドラッカーの本を理解できるようになり、大きな刺激を得たのかもしれない(もちろん、ドラッカーの本はどの本も分厚いし、社会評論に近い本も多いのですが、良い本もあるということです)。

ところで、ドラッカーの別の本に『非営利組織の経営』(ダイヤモンド社,1991年)がありま

す。この本の前半部分には何度も驚かされました。世の中に対して「善いこと」を行っていることで(自己)満足してはいけない。ボランティアの時代が来ることは間違いないが、非営利組織こそ、何のために活動しているかを明確にしなければならない。そして、活動に必要な資金をどのようにして獲得するかが大事である。その組織やその活動が世の中に必要とされているほど、その組織は存続し続けなければならない(今日流に言えば、持続可能でなければならない)。そうだとすれば、非営利組織こそ事業の目的を明確にし、目的・目標にかなった行動や手段をとる必要があると書かれていました。マネジメントという用語を発明した人だけあり、説得力がありました。「善いこと」を行うのは非営利組織経営の本質ではない。まさに、目から鱗が落ちる思いでした。ドラッカーの本からは、物の見方を固定せず柔軟に保つことが重要であり、とくに、事業を何のために、誰のために行っているかを常に考えることの重要性を教えてくださいました。それは、50歳頃から大学組織の変革の流れの中で無我夢中だった自分の生き方を考える指針としても、少なからぬ影響を受けたのではないかと今では思っています。

本を読むと、自分が経験したことも考えたこともない世界を知ります。新しい知識、新しい考え方、新しい発想を得ます。愚者は自分の経験(失敗)だけから学ぶが、賢者は他人の経験(歴史や本)から学ぶという意見があります。読書は、自分が考えている世界とは違う世界があることを教えてくれます。皆さんも、一度、挑戦してみてくださいはいかがでしょうか。



『寡占: 現代の経済機構』
(岩波新書, 1972年)
宮崎義一著

請求記号:335.27/Mi88
登録番号:0068543



『新しい産業国家』
(河出書房新社, 1972年)
ガルブレイス著

請求記号:335.3/G-3/1B
登録番号:0079206



『経済発展の理論(上)』
(岩波文庫, 1977年)
シュムペーター著
塩野谷祐一, 中山伊知郎, 東畑精一訳

請求記号:331.71/Sc8/1
登録番号:0305001



『イノベーションと
企業家精神: 実践と原理』
(ダイヤモンド社, 1985年)
P・F・ドラッカー著
上田惇生, 佐々木実智男訳

請求記号:335.13/D92
登録番号:0139282



『非営利組織の経営:
原理と実践』
(ダイヤモンド社, 1991年)
P・F・ドラッカー著
上田惇生, 田代正美訳

請求記号:335.7/D92
登録番号:0251144

『書店主フィクリーのものがたり』

(早川書房,2015.10)
ガブリエル・ゼヴィン 著
小尾芙佐 訳

請求記号:933/Z3
登録番号:0517306

本書は、2016年度本屋大賞の翻訳小説部門で1位に輝いた作品ですので、あえて紹介するまでもなく「おもしろ本」の代表として知られています。妻を亡くした偏屈オヤジ(フィクリー)の経営する、島で一軒しかない本屋を舞台として、連作形式(ただし話は切れずに連続する)で話が進行します。各編には一冊の本が副題として割り当てられていますが、その本を知っている必要はありませんのでご安心下さい。それらの本(の副題)は、主としてマヤという迷い込んできた女の子に関連した、フィクリーの思いを、加えてフィクリーの文学観を具現化したものとして登場するからです。

世の中に可愛い女の子が登場する本は数多くあ

ります。それらの中でも『書店主フィクリーのものがたり』のマヤは、トップクラスの存在。匹敵するものがあるとすれば、A.J.クィネルの『燃える男』に登場する「ピンタ」という女の子くらいのものでしょう(別に私はロリコンではありませんが、キャラクターの造形は気になります)。フィクリー、マヤ、そして出版販売員のアメリカらが街の人々を巻き込んでいくにつれ、人間としても成長するフィクリーたち。『アルジャーノンに花束を』などで有名な小尾芙佐(おびふさ)の訳でこれが読めるのは、なんと幸せなことでありましょうか。2015年に早川より出版されましたが、今は文庫で買えるようになりました。



(学長 谷岡 一郎)

『オンブレ』

(新潮文庫,2018.2)
エルモア・レナード 著
村上春樹 訳

請求記号:933/L55
登録番号:0531037

映画には西部劇というジャンルがあった、と今では過去形で語らなければならないのかな? 本書はその文学バージョン「西部小説」というジャンルに当たらしい。しかもポール・ニューマン主演、『太陽の中の対決』(1967)という邦題で映画化されている。私はE.レナードの小説は好んで読む方だが、この作者がハリウッド映画に多くの原作を供していたことは、訳者村上に「あとがき」で指摘されるまでは知らなかった。このことはアクション映画全般に及ぶ。

レナードの小説はそのどれもが、感情を交えぬ乾いた、しかもテンポ感のある文体、主人公のおそろしく気まぐれで意表をついた行動に特徴付けられ

る。そう、行動の面白さで成り立ったお話、複雑微妙な心理描写などとは無縁の小説、この作品はその典型だ。映画とは本来、心理の妙より行動を魅力的に描くのを得意とする。クールなヒーローはアウトロー、どうしようもない悪漢どもの暗躍、馬車による逃避行、ガンファイト等々と映画的見せ場満載の小説なのである。ヒーローの意表をつく行動の連鎖によって読者は先の読めないストーリー展開に引き込まれ、映画的悦楽に浸ることになる。



いかがですか、活字による映画鑑賞。ちなみに、オンブレ(hombre)とは、タフな奴といった意味の俗語である。

(図書館長 塩田 眞典)

『貝と羊の中国人』

(新潮新書,2006.6)
加藤徹 著請求記号:302.22/Ka86
登録番号:0401480

「斬新かつ大胆な切り口で、中国と中国人の本質に迫る」というのが、本書の「売り」だが、その通おりの、ユニークな分析視点と筆致を感じさせる本。大まかな、基礎的な中国論とか中国史入門の概説書の類でありながら、他書にはみられない「本質の読み取り」が随所で堪能できる。欧米史の専門研究者からすると、「その断定はあまりにも大雑把に過ぎるやんか」、という文章もないわけではないが、そんな些末な精確性は、ま、二の次でも差支えないと感じさせる大胆さが魅力の本なのである。つまりは、大変興味をそそる自説が明示された、鮮明な印象の本。

中国の王朝は「流民がつくった」歴史、律令制度の導入以来、日本は何でも中国やアジア諸国との交

流を通して国づくりをしてきたと考えるのが自然かも知れないが、ところがどっこい、「交流なんかは全然なくて、いつも直流での交わりのみがあっただけ」、「大づかみ式合理主義が中国語や中国人の思考方式」といった指摘などは、読者を「あ、なあ〜るほど、そうなんや」と納得させることになる。中国人に対するなんとはない違和感を感じている人や中国史がイマイチびんと見通せていない人には、とても参考になる好著です。本書のエッセンスを掴めば、テレビ報道やネットで見る中国情報が、いかにも薄っぺらなものに見えてしまうはず。この本は、実はすぐれた日本人論ともなっていて、我が身のこともについても、いろいろ考えさせてくれるのです。

(総合経営学部 教授 下山 晃)



『自分の仕事をつくる』

(筑摩書房,2009.2)
西村佳哲 著請求記号:366.29/N84
登録番号:0434373

書店には、「働く」ことをテーマに書かれた本が多く並んでいるようだが、本書はその類のものとは少し趣きが異なっている。どこがどう違うのだろうか。ここには著者を含めて10人ほどの働き手が登場するが、彼らに共通しているのは「働く」ということに対して深い「思い(思想)」を持っているということ。そして、職種は違っていてもそれぞれの働き手が、「心地良い独自のリズム」で仕事に携わっているというところだろう。

登場する人は、工業デザイナーやパン職人、陶芸家、アウトドアメーカーやプラモデルメーカーの社員など、デザインやものづくりに関わる人々が中心である。彼らは皆、「今」の自分の仕事(=自分)を大切

にして、妥協のない仕事を自ら創り出している。多くの顧客の一時的な満足を想定し、商品やサービスを生み出すことに必死な企業とは異なり、自分が生活で必要なもの、自分が心地良いものを徹底して追求している。タイトルのとおり、どこかの

誰かのために組織に働かされているのではなく、自分で自分の仕事をつくっているのである。さらにその先に、他人の(それほど数は多くはないかもしれないが)幸せも実現しようとしているようだ。

グローバルな競争社会の中で、スピードや効率性を重視する組織のために「ほどほど」の働き方で満足せざるを得ないと考えている人は、是非「あとがき」までしっかり読んで欲しい一冊である。

(総合経営学部 教授 河辺 純)



リスト『著作集』①

小津安二郎の『晩春』という映画に、ヒロインたる娘の父親の大学教授(おそらくは東大教授)が、自宅で仕事をしているとき、隣にいる助手とおぼしき人物がリストの綴りについて質問してくる場面がある。教授は音楽家のリストの綴りはzが入るが、経済学者のリストはzが入らない、ほとんど独学で大成したえらい経済学者だという趣旨の回答をする。そして結婚を控えた娘と、京都旅行を計画し、京都で京大教授の知り合いと会う約束をする。

この昭和24年の映画を見た人のどれだけが、経済学者のリストを知っていたかわからないが、日本の大学の経済学において、歴史学派のリストがいかに大きな存在であったかがわかる場面である。

フリードリヒ・リスト(Friedrich List, 1789-1846)は、ドイツ歴史学派の経済学者、主著『経済学の国民的体系』(1841年)で知られる。本学には著作集の3巻が入っている。リストは通常のアカデミズムのコースをたどらず、さまざまな職業につき、また鉄道事業から、甜菜(テンサイ)の精製にいたるまで、実に多くのことに興味を持った。

誕生したのは、ドイツの南の帝国自由都市ロイトリンゲンで、リストの父親は、小間物雑貨商ツンフト(同職組合)の皮なめし匠の親方で、都市の役職に何度もつき、生活に不自由はなかった。

9歳からラテン語学校に通う。ラテン語学校は、ドイツ語学校と違い、大学進学への道が開かれた学校で、恵まれた家庭の子供でないと入学できなかった。リストの成績は平凡で、ラテン語が好きになれなかった。その代わりに、小説、旅行記、地誌、娯楽本を読みふける読書少年であった。また教師も、安い給料で、聖職につくまでの腰掛のつもり

であったから、教育に熱が入らなかった。大学へ進むものは、年平均1人くらいだったという。クラスの2人が大学進学のためギリシャ語とヘブライ語を学び始めたころ、リストは学校をやめて家業を手伝い始めた。しかし皮なめしの重労働になじめず、また同じ仕事場にいた兄にあれこれ注意され、こっそり仕事場を抜け出しては、パイプタバコを吸ったり、本を読みふけったりした。ついに兄は、ほかの職人の労働意欲をそぐとして、怠け者の弟を仕事場から追い出すように父親に頼み込んだ。

ところでロイトリンゲンでは、同じ自治都市でも大都市のような都市貴族の支配がなく、ツンフトの代表による政治が何百年も行われていた。リストは、それを後々に至るまで、「自由な国家組織の最良のもの」として誇りに思っていた。しかし1803年ナポレオンによって、自治都市ロイトリンゲンは消滅し、以後、ロイトリンゲンはビュルテンベルク公国の郡役場所在地になった。

父の仕事場を出たリストは16歳のとき、ビュルテンベルク公国のブラウボイレンという町の書記見習いとなった。職人が徒弟奉公から始めるように、書記を目指す若者も見習いとして書記の家に住み込んで修行をするのが普通であった。1808年には最初の国家試験に合格して試補となった。当時書記は権力の恣意的な乱用で民衆の怒りを買っており、リストはその改革にまい進することになる。

(経済学部 准教授 森岡 邦泰)

学生選書ツアー開催!

平成30年6月14日(木) 15:00から、「学生選書ツアー」を開催します。学生選書ツアーとは、実際に書店へ行き、図書館に置いてほしい本を自分で選ぶことができるイベントです。

参加希望の学生は、6階カウンターまたはメールで申し込みください。

[申し込みメールアドレス]

shusho@oucow.daishodai.ac.jp



《学生選書本 貸出ランキング》

順位(貸出回数)	書誌情報	資料番号	請求記号
1位(51回)	白夜行 / 東野圭吾著	0347225	913.6/H55
2位(48回)	黒笑小説 / 東野圭吾著	0421203	913.6/H55
	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら / 岩崎夏海著	0443214	913.6/I96
4位(45回)	お金が貯まらない人の悪い習慣 39 / 田口智隆著	0462582	159/Ta19
5位(43回)	伝え方が9割 / 佐々木圭一著	0487820	361.45/Sa75
6位(41回)	植物図鑑 / 有川浩著	0461307	913.6/A71
7位(34回)	金持ち脳と貧乏脳: 脳とお金のただならぬ関係 / 茂木健一郎著	0493256	159/Mo16
8位(33回)	海の底 / 有川浩著	0429127	913.6/A71
9位(32回)	おとなの教養: 私たちはどこから来て、どこへ行くのか? / 池上彰著	0499545	002/I33
10位(31回)	超訳ニーチェの言葉 = Die weltliche Weisheit von Nietzsche / フリードリヒ・ヴィルヘルム・ニーチェ [著]; 白取春彦編訳	0444859	134.9/N71
	生き方: 人間として一番大切なこと / 稲盛和夫著	0477295	159/I53

学生選書本は、他にも下記の本があります。(一部紹介)

書誌情報	資料番号	請求記号
若き人々への言葉 / ニーチェ著; 原田義人訳	525527	134.9/N71
カルロス・ゴーンの経営論: グローバル・リーダーシップ講座 / 太田正孝, 池上重輔編著	524404	335.13/N87
パロディの理論 / リンダ・ハッチオン著; 辻麻子訳	525532	704/H98
ブリュッゲルの世界 / 森洋子著	525559	723.359/B78
日本人失格 / 田村淳著	525522	914.6/Ta82
ブラックホーク・ダウン: アメリカ最強特殊部隊の戦闘記録 / マーク・ボウデン著; 伏見威蕃訳; 上	525541	936/B68
ブラックホーク・ダウン: アメリカ最強特殊部隊の戦闘記録 / マーク・ボウデン著; 伏見威蕃訳; 下	525542	936/B68

学生選書本は、「2階学生選書コーナー」にあります。是非チェックしてみてください!

2018年度 前期 貸出ランキング

集計期間:2017/9/21~2018/3/31

2017年間ベストセラーや芥川賞受賞作品などの話題本がランキングを占める中、授業関連資料もランクインしています。

順位	タイトル / 著者等	登録番号	請求記号
1	コンビニ人間 / 村田沙耶香著	0519594	913.6/Mu59
2	九十歳。何がめでたい / 佐藤愛子著	0520121	914.6/Sa85
3	蜜蜂と遠雷 / 恩田陸著	0523864 (学生専用)	913.6/O65
4	火花 / 又吉直樹著	0514921 (学生専用)	913.6/Ma71
4	靴下バカー一代: 奇天烈経営者の人生訓 / 越智直正著	0520150	289.1/O15
6	阪急電車 / 有川浩 [著]	0481142	913.6/A71
6	社会思想の歴史: マキアヴェリからロールズまで / 坂本達哉著	0499332	309.023/Sa32
6	おらおらでひとりいぐも / 若竹千佐子著	0527978	913.6/W27
9	日の名残 / カズオ・イシグロ著; 土屋政雄訳	0333717	933/I73
9	「経営」についてこれだけは知っておいて欲しいこと / 中島孝志著	0462156	335/N34
9	ざんねんないきもの事典: おもしろい! 進化のふしぎ / 下間文恵, 徳永明子, かむむらふゆみ絵	0520598	480/Sh53
9	危険なビーナス / 東野圭吾著	0521686	913.6/H55
9	影裏 (えいり) / 沼田真佑著	0526019	913.6/N99
9	孤独のすすめ: 人生後半の生き方 / 五木寛之著	0526027	914.6/I91

図書館学生スタッフ募集!

図書館では、図書館主催イベントへの参加・運営に協力してくれる学生スタッフを募集しています。

〈サポート内容〉

- ・学生選書ツアーへの参加
- ・読書会への参加
- ・イベントの企画

本が好きなのはもちろん、図書館の仕事に興味を持った方は、6階カウンターまでぜひお越しください!

一緒に図書館を盛り上げましょう!

応募
待ってるよ~!



図書館 インフォメーション INFORMATION

◆ 特設コーナー紹介

2階特設コーナーにて、5月22日から「伸ばそう！スキルアップ」をテーマに、スキルアップに役立つ図書約60冊を順次展示中。今こそ実行に移す時！自分のために時間を使える今こそスキルアップを目指そう！！

◆ 企画展示紹介

図書館では、毎年展示テーマを企画し、計6回の企画展示を実施しています。前期は、下記の展示テーマで実施します。2階フロアで展示をしていますので、ぜひ一度ご覧ください。展示されている本は貸出も可能です。

H30.5/11 (金) ~6/29 (金) 「「ひとりも好き」なあなたへ」

H30.6/29 (金) ~9/20 (木) 「「似たりよったり本」特集」

◆ 視聴覚 (AV) 機器を更新しました！

2階AVコーナーに設置している視聴覚 (AV) 機器を、15ブースすべてBle-ray対応プレーヤーとワイド型モニターにリニューアルしました。視聴覚資料も毎年約100本の新作を購入し、最新作をどんどん追加しています。

授業の空き時間などに、ぜひ利用してください。



2018年度 図書館開館カレンダー

6月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

8:00~22:00 (20:00以降2Fのみ)

9:00~18:00

9:00~18:00 (2Fのみ)

休館日

上記以外にも臨時休館日を設ける場合があります。開館日程および時間に変更されることがあります。詳細は図書館1階掲示板・館内配布チラシ・図書館ホームページ等でお知らせ致します。

【編集発行】大阪商業大学図書館

大阪商業大学図書館報「ブック村だより」第50号 平成30年5月31日発行

〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10

E-mail: lib@oucow.daishodai.ac.jp

TEL: 06-6781-5280 FAX: 06-6781-0089

URL: <https://www.lib.daishodai.ac.jp/>

QRコードを読み取ると、
図書館ホームページへ
アクセスできます。

